

■中国・フランス：訪中のマクロン大統領、中国側と多数の案件合意

現地紙によると、中国政府当局者は2019年11月6日、訪中したフランスのマクロン大統領一行との間で多数の案件が合意に至ったことを明らかにした。エネルギー関連では、(1) 原子力の使用済燃料再処理施設の地点・費用に関して2020年1月末までに合意すること（フランス側は原子燃料会社Oranoが担務）、(2) 長江デルタにおけるLNG輸送に関するTotal（フランス）・Shenergy（上海の申能集団公司）によるJV設立、(3) 天津市におけるLNG基地建設に関するEngie（フランス）・Beijing Gas（北京燃気集団公司）によるJV設立などが挙げられる。